



2026年2月27日

各位

会社名 日鉄鉱業株式会社
代表者名 代表取締役社長 森川 玲一
(コード番号 1515 東証プライム市場)
問合せ先 海外資源事業部長 三田 晋一郎
(TEL 03-3216-5252)

(開示事項の経過) チリ共和国におけるアルケロス鉱山開発プロジェクトの

一部見直しについて

当社は、2026年2月27日開催の取締役会において、開発費用見込みの増額を決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 概要

2023年4月28日付「チリ共和国における新規銅鉱山の開発に関するお知らせ」にてお知らせしましたとおり、当社はチリ共和国・コキンボ州において、アルケロス鉱山の開発を進めてまいりました。

本プロジェクトの進捗状況については、適時 IR 資料においてお知らせしておりましたが、今般、エンジニアリング変更や難工事区間の施工方法変更、物価上昇や許認可遅延により、当初計画比で、投資額が増加（本増加分は主に借入で対応する予定）するほか、生産開始についても後ろ倒しとなる見込みです。

一方で、プロジェクトの前提となる資源価格等も見直したことから、本プロジェクトの操業期間全体における収益性は向上する見通しです。

2. 変更点

	今回想定 (2026年2月27日時点)	前回想定 (2023年4月28日時点)
開発費用見込み	486 百万 US \$	396 百万 US \$
操業コスト*見込み	C1 : 131 ¢ /lb C3 : 318 ¢ /lb	C1 : 142 ¢ /lb C3 : 286 ¢ /lb
前提銅価格	480 ¢ /lb	385 ¢ /lb
前提銀価格	50 \$ /toz	23.5 \$ /toz
生産開始見込み	2026年7-9月	2026年4月

* 操業コストにおいて、銀の副産物収入は、費用のマイナスとして計上されます。

3. 業績に与える影響

本件による2026年3月期連結業績に与える影響は軽微と見ております。

また、本件による2027年3月期連結業績に与える影響については、公表すべき事項が発生した場合は速やかに開示いたします。

4. その他

当社の主力事業である鉱山業は、持続的な成長を実現するため、長期にわたる事業サイクルと巨額の開発投資に備えた財務健全性の確保が重要です。同時に、資本効率の向上を経営課題として位置付けております。

これらの方針のもと、本プロジェクトなど主に鉱山操業による中長期的なキャッシュ創出力に加え、資産売却計画実行により、財務健全性を確保しつつ、資本効率を一層向上し得るとの判断に至りました。これを受け、本日「自己株式取得に係る事項の決定及び自己株式の消却に関するお知らせ」を公表しています。あわせて当社ホームページにも掲載しておりますので、ご覧ください

(<https://www.nittetsukou.co.jp/>)。

以上

【ご参考】アルケロス鉱山 開発現場

2026年2月時点



2025年3月時点（約1年前）

